

防災の になる話

1 防災に対する樹木の寄与

近年の台風の大型化や、記録的な強風と豪雨によって、斜面地の土壌侵食や倒木、表層崩壊による災害リスクは高まっており、これらの災害が毎年のように発生しています。一方、植物の根は森林斜面の土壌補強強度を高め、表層崩壊の防止に一定の効果を発揮しています。植物を利用した森林管理の方法とその限界について紹介し、災害リスクを低減させるにはどうすればよいか考えます。



プロフィール

1989(平成元)年兵庫県職員に採用され、兵庫県宍粟市(旧山崎町)にある現在の職場に配属される。現在は、地域生態系に配慮した里山管理手法や緑化手法、災害に強い森づくりの研究に携わっている。専門は保全生態学と緑化工学。

講師 山瀬敬太郎

兵庫県立農林水産技術総合センター
森林林業技術センター主席研究員兼部長

2 樹木根系の計測・解析に対する情報技術の活用

地上にある樹木は直接見ることができますが、地中の根を直接見ることはできません。しかしながら、根は樹木を支えるだけでなく、水分や栄養を地上部に供給するなどの働きを担っており、森林における樹木の生態や機能を知る上で根の計測技術は、防災、生態系の保全などの点で極めて重要です。本講座では大きくて、複雑な形状を持つ樹木の根の測定、解析方法とこの課題に対する情報技術の応用を紹介いたします。



プロフィール

20年以上にわたり昆虫の行動と神経機構に関する研究を行ってきたが、近年、神経細胞と植物の根の形状の類似性に着目し、樹木根の解析を進めている。専門は生体情報工学、ニューロインフォマティクス、計測工学。

講師 池野英利

福知山公立大学
情報学部長・教授

参加費
無料



2023年 12 / 6 水 18:30~20:00
(18:10~受付)



申し込み



市民交流プラザふくちやま3階 会議室3-2
京都府福知山市駅前町400番地
オンライン(Zoom)

12月1日(金)
16時までに
申し込み
フォームへ

先着30名



福知山公立大学
The University of Fukuchiyama

主催: 福知山公立大学北近畿地域連携機構



Kita-re
北近畿地域連携機構

☎0773-24-7151
✉kita-re@fukuchiyama.ac.jp